

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151（代表）

担当：呼吸器外科 末吉国誉

【研究責任者】

聖路加国際病院 呼吸器外科 板東徹

肺切除術後患者における肺切除直後から 空気漏れを起こさない患者の特徴に関する研究

1.研究の対象

2015年1月1日から2021年12月31日までに当院呼吸器外科において、肺葉切除術、肺区域切除術、肺部分切除術を行った方を対象としています。

2.研究の目的・方法

肺切除術後に最も頻繁に起こる合併症は肺の空気漏れです。肺の空気が漏れて胸郭に溜まってしまうと、肺が押しつぶされ、呼吸に影響が生じます。空気漏れは術後の患者さんの約3割に発症し、入院期間の最も重要な決定要因となります。術後数時間で自然に解消する場合もあれば、数日間続く場合もあります。

本研究では肺切除術後早期に空気漏れが見られる患者と空気漏れが全くない患者の特徴を抽出することを目的としています。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2023年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

<<情報>> 病歴、身体的特徴、喫煙歴、血液検査データ、呼吸機能、画像データ、手術内容、カルテ番号、術後入院経過 等